

「日本バプテスト連盟第 70 回定期総会 議案説明②」 吉田真司**【議案 3】 2023 年度諸会計決算、並びに会計監査報告承認の件**

2023 年度の協力伝道献金総額は 1 億 1589 万円で予算目標額 (1 億 1800 万円) をわずかに下回った。国外伝道に際しては女性連合の世界バプテスト祈祷週間献金 (国外伝道分) から 2022 年度にお献げいただいた 2263 万円が用いられた。収益事業会計では今後も赤字をなくすることが課題である。2023 年度決算の特徴に、「教役者退職一時金・年金会計」がある。前回総会の特別報告のとおり、その会計管理に問題があり、あらためて規程に則して厳格対応することとした。当課題については調査委員会により今総会にて調査報告がなされる。以下、監事所見より。「新型コロナウイルスによる活動制限の影響が残る中、諸教会・伝道所の協力伝道活動への理解は大きかったと考えられます。様々な要因による教会員の減少や急激な物価上昇は教会・伝道所の宣教活動には大きな課題です。そのような中で、各個教会・地域が主体となって連盟協力伝道の諸活動が立案・実施されていますので、機構改革で『協力伝道献金体制』を掲げている以上、改めて、協力伝道献金体制とは何か、またそのビジョンは何かなどを明確にしながら連盟活動を進めること、その上で毎年度の協力伝道献金を呼びかけていくことが望まれていると考えます。」

【議案 4】 2025 年度活動方針、並びに活動計画の件

主題「今、共にキリストを証しするために～新たな『自立と協力』～各個教会・地域が主体となる協力伝道へ～ (中期計画主題を継続掲題)。中期 3 年目となる 2025 年度は「連盟単位」でのネットワーク構築に注力し、多様な声の響きあう協力伝道体となることを目指します。また 2026 年度までに一般会計における収支バランスを均衡させるための施策を講じること、教役者退職金制度運用の改善策を講じること、全体の長期的財政計画策定に取り組む。そして「新たな支援の仕組み」の検討も特徴。主な取り組みは次の通り。①協力伝道献金推進～全加盟教会で担う協力伝道活動へ。②「国際宣教委員会設置」準備。③総会参与率目標 91.7%。④教役者退職金教会拠出率目標 95%。⑤「バプテスト大会」実施準備。⑥新体制 (機構改革) ならびに第一次中期計画に関する協議・評価、課題の抽出。⑦教役者の経済的困窮への対応。⑧加盟教会建物・諸施設の経年劣化への対応。⑨第二次中期計画立案 (理事会主催「宣教協議会」を実施)。

(次号につづく)

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>